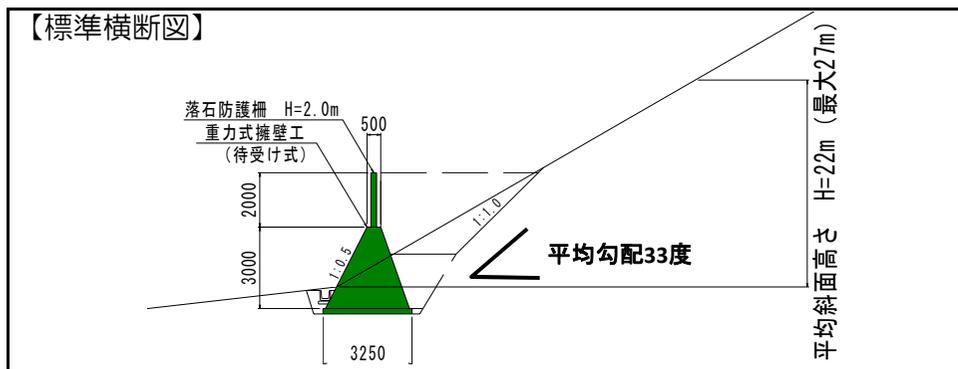
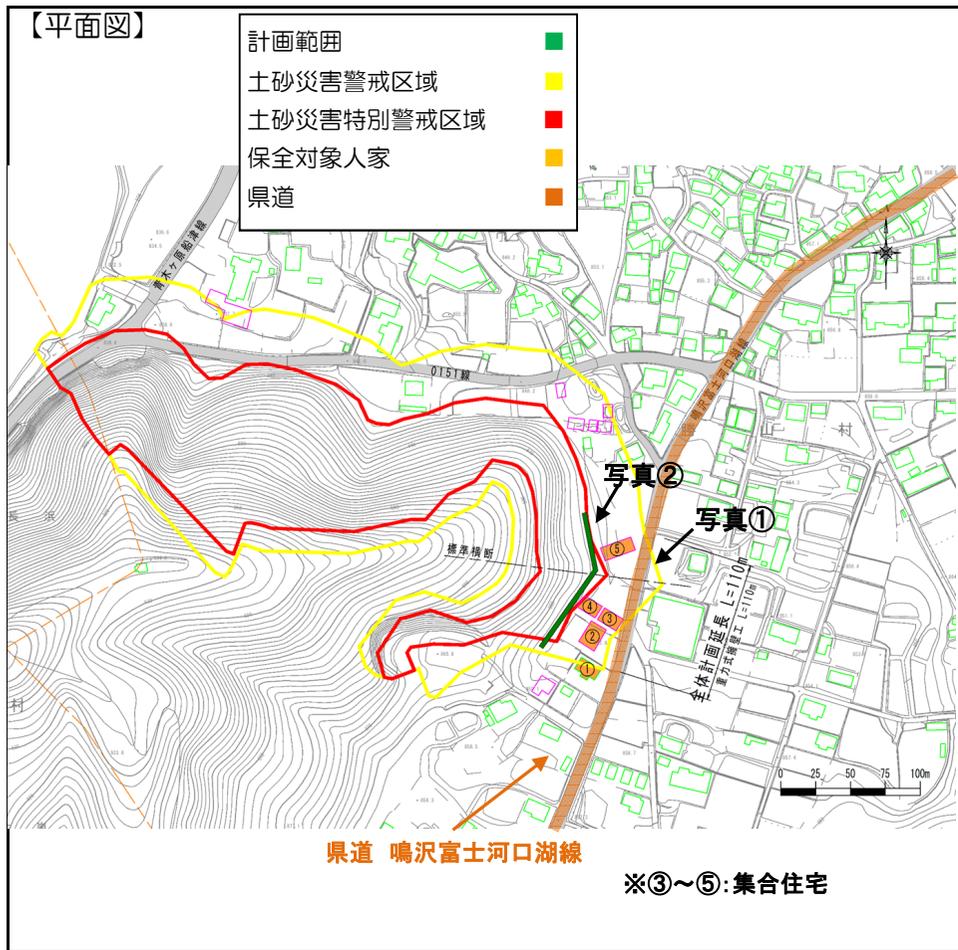


1. 事業説明シート

事業名 急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所 南都留郡富士河口湖町勝山	地区名 勝山 (カツヤマ)	事業主体 山梨県																																																																														
(1) 事業の概要 ①課題・背景 勝山地区は南都留郡富士河口湖町に位置する急傾斜地であり、平成18年3月27日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は平均斜面高22m、平均勾配33度の急傾斜地で、保全対象には人家2戸、集合住宅3戸 (換算14戸)、県道鳴沢富士河口湖線があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。 ②整備目標・効果 <input type="checkbox"/> 主要目標 <input type="checkbox"/> 崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：人家2戸、集合住宅3戸 (換算14戸) 換算後合計16戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有 (県道) (保全対象=人家2戸、集合住宅3戸 (換算14戸)、県道 L=58m) ※評価基準値 <input type="checkbox"/> 副次目標 - <input type="checkbox"/> 副次効果 -		(3) 事業の妥当性評価 <table border="1"> <tr> <td>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</td> <td>妥当</td> <td>妥当でない</td> </tr> <tr> <td>急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③経済妥当性</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>185 百万円</td> <td>工期</td> <td>R5~R10</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>159 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1368 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>159 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">407 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">91 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">7 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">863 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">8.6</td> </tr> </table> <p>※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <table border="1"> <tr> <td>④事業実施・規模の妥当性</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>地形条件を考慮し、必要最小限の規模とした。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤整備手法の有効性</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥環境負荷等への配慮</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦事業計画の熟度</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>地元の要望に基づいており、富士河口湖町から受益者負担金の同意は得られている。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)	妥当	妥当でない	急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当			③経済妥当性	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	総事業費	185 百万円	工期	R5~R10	基準年	R4	経済効率性	費用	159 百万円	便益	1368 百万円		建設費	159 百万円	一般資産被害抑止	407 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	91 百万円				公共土木施設等被害	7 百万円					その他※	863 百万円		B/C			8.6			④事業実施・規模の妥当性	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	地形条件を考慮し、必要最小限の規模とした。			⑤整備手法の有効性	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。			⑥環境負荷等への配慮	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。			⑦事業計画の熟度	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	地元の要望に基づいており、富士河口湖町から受益者負担金の同意は得られている。		
①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)	妥当	妥当でない																																																																															
急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																																															
②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																																															
急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当																																																																																	
③経済妥当性	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																																															
総事業費	185 百万円	工期	R5~R10	基準年	R4																																																																												
経済効率性	費用	159 百万円	便益	1368 百万円																																																																													
	建設費	159 百万円	一般資産被害抑止	407 百万円																																																																													
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	91 百万円																																																																													
			公共土木施設等被害	7 百万円																																																																													
			その他※	863 百万円																																																																													
B/C			8.6																																																																														
④事業実施・規模の妥当性	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																																															
地形条件を考慮し、必要最小限の規模とした。																																																																																	
⑤整備手法の有効性	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																																															
地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。																																																																																	
⑥環境負荷等への配慮	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																																															
環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。																																																																																	
⑦事業計画の熟度	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>																																																																															
地元の要望に基づいており、富士河口湖町から受益者負担金の同意は得られている。																																																																																	
(2) 整備内容 ①整備内容 重力式擁壁工 L=110m H=3.0m ②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和10年度 ④総事業費 約185百万円 (国費83百万円(4.5/10)、県費83百万円(4.5/10)、その他19万円(1.0/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和5年度 地形測量、地質調査、詳細設計 15 百万円 令和6年度 用地取得、立木補償 5 百万円 令和7年度 重力式擁壁工 45 百万円 令和8年度 重力式擁壁工 40 百万円 令和9年度 重力式擁壁工 40 百万円 令和10年度 重力式擁壁工 40 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 未整備		総合評価 [貢献度ランク：a] (4) 事業位置図等 																																																																															

2. 添付資料シート



【写真①】

保全人家



【写真②】

斜面状況

